自ら考え学び合い　心豊かに たくましく生きる児童の育成

子どもと共に

宮内小だより

No. 3

令和７年５月２０日

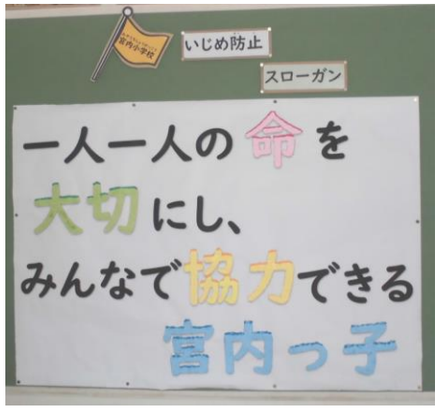
http://www.hatsukaichi-edu.jp/miyauchi-e/

廿日市市立宮内小学校

いのちの大切さについて考える日

毎年５月８日は「命の大切さについて考える日」として、市内の全小中学校で命やいじめについて考える行事や授業を行っています。目的は、いじめを絶対に許さないための風土をつくり、一人一人が何をすべきか考え、行動する児童を育てること、自分や他の人の命を大切にするとともにそれらを守るために何をすべきかを考え行動する児童を育てることです。廿日市市が「命の大切さについて考える日」を設けたのは、平成２５年に市内の中学生がいじめを誘因として自ら命を絶つというとても悲しい出来事があり、二度とそのような出来事を起こしてはいけないという思いからです。

５月８日（木）、全校で体育館に集まって命の大切さについて考える集会を行いました。校長先生から、何よりも大切にされなければならないものは命であること、いじめはどんな理由があっても絶対に許されないことというお話と、「へいわとせんそう」という絵本の読み聞かせがありました。また、各学級で道徳の授業で命の大切さについて学習したり、運営委員会が考えたスローガン**「一人一人の命を大切にし、みんなで協力できる宮内っ子」**を基に各学級がスローガンを考えたりしました。この取組が、この日だけの取組にならないように、今後も各学級でスローガンを振り返っていきます。また、以下のいじめに関する３つのポイントを児童と共有し、全ての子ども達が自分らしく安心して過ごすことができる安心・安全な宮内小学校を目指していきます。



いじめに関する３つのポイント

○いじめは絶対に許さない

どんな小さないじめも許さないという考えのもと、二度と同じ出来事をくりかえさないために、みんなでできることを考え、行動する。

○自分や他人の命を大切にする

いじめによって自分や他人の命が脅かされることがあってはならない。そのためにもお互いを思いやり、認め合うことの大切さについて考え、行動する。

○一人で抱え込まず、相談する

いじめによってつらい思いをすることがないように、また、一人で抱え込むことがないように相談しやすい雰囲気づくりについて考えたり、相談できるところを具体的に知らせたりする。

ありがとうございます　～学習支援が本格的に始まりました～

４月は１年生の下校見守りでお世話になった支援ですが、５月より、本格的に学習支援が始まっています。毎週木曜日の朝の時間には、読み聞かせボランティアぐるんぱのみなさんによる読み聞かせが始まりました。１年生の生活科のアサガオ植えの支援、３年生の毛筆支援、栽培飼育委員会の苗植え支援、２年生の生活科の野菜の苗植え支援、3年生の総合的な学習の校区探険支援とお世話になっています引き続きよろしくお願いします。学習支援の様子については、宮内っ子応援だより「すまいる」にもあります。こちらもご覧ください。

ご協力よろしくお願いします

先日の東京都立川市の事件を受けて、校内で児童の安全確保について検討したところ、以下のようにご協力をお願いすることにしました。児童の安全のため、来校時には保護者の方をはじめ一般来校者の方に、**①来校者名簿の記入、②来校者札の着用**　をお願いすることとしました（ただし、参観日等、大勢の保護者の来校する場合は除きます）。来校時には、職員玄関の事務室前の名簿に必要事項を記入いただき、来校者札の着用をお願いします。

宮内小学校ホームページに、「すまいる」があります。ぜひご覧ください。
宮内小ホームページ URL　http://hatsukaichi-edu.jp/miyauchi-e/